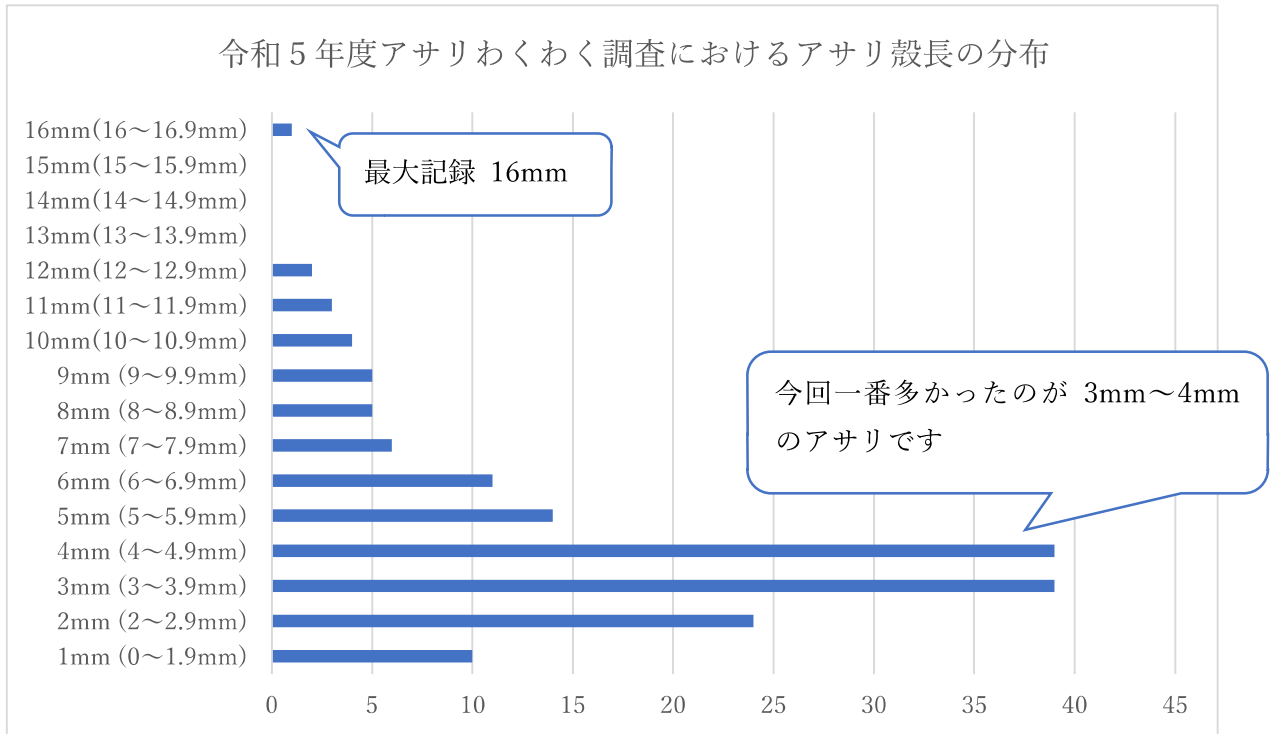


【調査結果概要】

調査地点 8 箇所(25cm×25cm×10cm/1 箇所)で、合計 163 個、殻長は 1～16mm でした。



【調査の様子】



アサリの採取状況



採取したアサリの計測

干潟調査のレポート⑤

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	8月2日

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.4716
	経度	139.6400
実施年月日	令和5年8月2日	
参加人数(人)	6人	

発見した生物の種名※	特記事項など
ムラサキイガイ	岩に付着し、上段・中段でよく見つかる。
ミドリイガイ	岩の隙間で見つかる。
フジツボの仲間	階段や護岸、カキ殻によく付着している。
ケフサイソガニ	上段でよく見つかる。
ベンケイガニ	上段・中段でよく見つかる。
マガキ	よく見つかる。殻に付着している生物も多かった。
イボニシ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
アラムシロ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
タテジマイソギンチャク	岩に付着し、よく見つかる。
マハゼ	成魚、稚魚ともに潮だまりで見つかる。
クサフグ	潮だまりで見つかる。
アカニシ	岩に付着し、よく見つかる。

※干潟における生物種の変遷について年度ごとの評価を行うため、干潟調査でみられた生物種のリスト化を実施しています。発見した生物の種名は、なるべく正確に記録いただけますと幸いです。また、行が足りない場合は追加いただけますようお願いいたします。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」(人工干潟)



【対象生物】

干潟に生息する外来海洋生物等

【調査結果概要・調査状況】

潮彩の渚では、主に以下の種が確認されました。

マガキ、アメリカフジツボ(カキ殻に付着)、タテジマイソギンチャク(カキ殻に付着)、ムラサキイガイ、ベンケイガニ、イボニシ、アカニシなど



外来海洋生物等の採取状況



採取した海洋生物

この画像を検索

クサフグ
魚類

G 検索

見ただ目で一致

flow-tech.ai

検索 テキスト 翻訳

採取した生物の検索結果

干潟調査のレポート⑥

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
NPO 法人ふるさと東京を考 える実行委員会	葛西海浜公園西なぎさ	9月17日

干潟調査の結果

団体名	NPO 法人ふるさと東京を考 える実行委員会	
調査地点名	葛西海浜公園西なぎさ	
位置座標 (可能であれば)	緯度	
	経度	
実施年月日	2023年9月17日	
参加人数(人)	6人	

発見した生物の種名※	特記事項など
シオフキ	50 個/2.25 m ²
ソトオリガイ	6 個/2.25 m ²
アサリ	6 個/2.25 m ²
マテガイ	1 個/2.25 m ²
計	62 個/2.25 m ²

【対象生物】

二枚貝生息量
調査

【調査結果概要】

- ・調査地点



採捕された二枚貝



調査結果

		アサリ		シオフキ		ソトオリガイ		マテガイ		計	
		個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量
1	看板から100m	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4
2	遊泳禁止看板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	テント東端	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	渚橋正面	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
5	テント西端	0	0	3	0	1	3	0	0	4	4
6	茂みの前	3	0	10	0	2	4	0	0	15	5
7	バーベキュー小屋前	0	0	10	0	1	3	0	0	11	4
8	事務所とバーベ キュー 小屋の間	0	0	3	0	1	2	0	0	4	3
9	管理事務所	0	0	13	29	0	0	0	0	12	29
10	看板前	3	0	7	2	0	0	1	1	11	4
11	最西看板	0	0	3	2	0	0	0	0	3	2
		6	0	50	34	6	18	1	1	62	55

【調査の様子】





8-2 その他の調査

(1) 調査参加機関

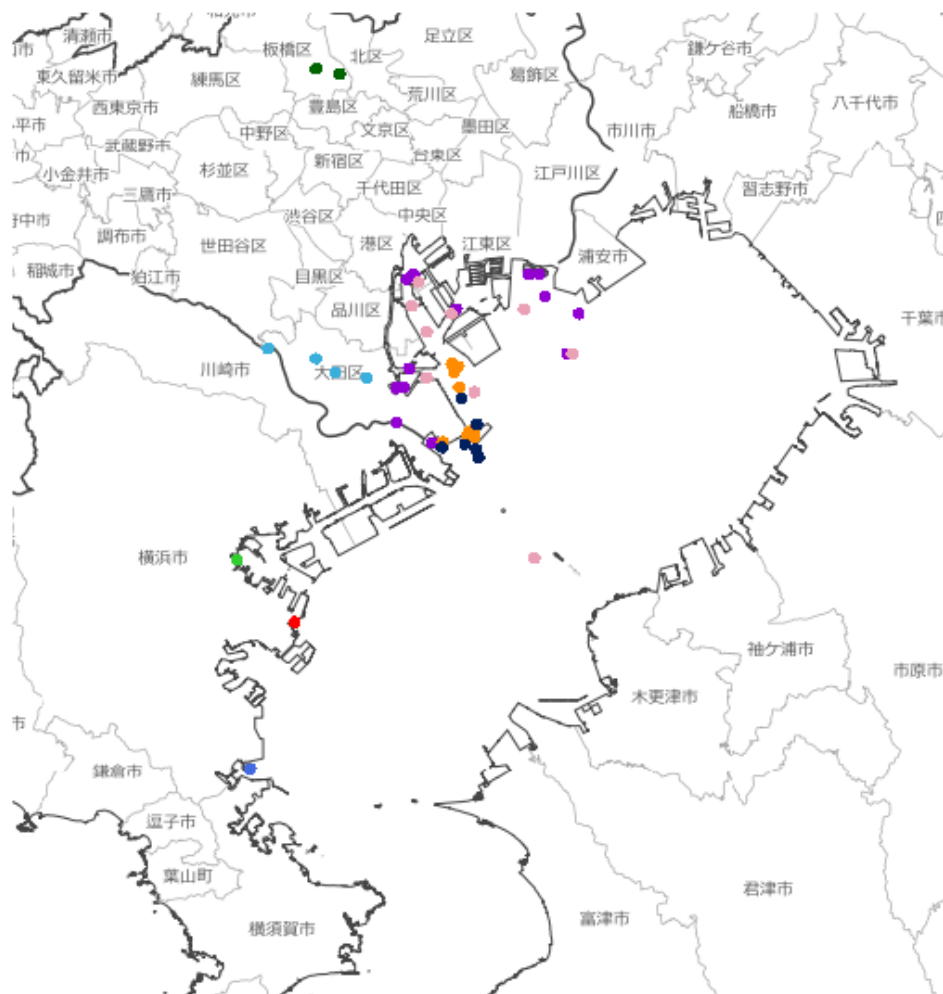
令和5年度は、7団体から干潟以外（河川、沖合など）の生物・プランクトン調査について報告がありました（表8-4）。

表 8-4 その他の調査の実施実績（実施日順）

報告書 番号	実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
①	東京都大田区	①田園調布（多摩川） ②呑川中流域 ③呑川上流域 ④内川（四之橋～諏訪橋）	①6月7日 8月2日 ②6月6日 8月3日 ③6月7日 8月3日 ④6月6日 8月3日	魚類、底生生物
②	東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	①7月25日 8月1日 8月2日 8月9日 ②8月1日 ③9月7日 ④8月3日 ⑤8月30日 9月6日	①プランクトン ②稚魚 ③成魚 ④鳥類 ⑤底生生物
③	関東地方整備局 京浜港湾事務所	横浜港本牧沖	7月26日～ 28日	海藻類、魚類及 び着生生物等
④	東京都板橋区	石神井川	7月31日	魚類、底生動物
⑤	国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所	東京湾内	①8月2日 8月29日～ 8月31日 8月4日 ②8月7日	①浅場に生息す る水生生物 ②海底に生息す る底生生物
⑥	横浜・八景島シーパラダイス	横浜市海の公園	8月2日	魚類
⑦	関東地方整備局港湾空港部	臨海パーク	8月21日	東京湾に生息す る水生生物

(2) 調査実施地点

調査は、図 8-4 に示す地点で実施されました。



出典：海洋状況表示システム (<https://www.nsil.go.jp/>)、国土地理院 [86]

●	東京都大田区 (多摩川)、香川中流域、香川上流域、内川 (田之腰～御坊間) (観音寺番所①)
●	東京都環境局自然環境部水質汚濁課 (東京都内湾部、色津部、千代田) (観音寺番所②)
●	東京都環境局自然環境部水質汚濁課 (プランクトン調査) (観音寺番所③)
●	関東地方整備局 京浜港湾事務所 (横須賀水門) (観音寺番所④)
●	東京都板橋区 (石神井川 (久保田橋、錦橋)) (観音寺番所⑤)
●	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 (海鳥観察生物) (観音寺番所⑥)
●	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 (浅瀬水生生物) (観音寺番所⑦)
●	横浜・入景島シーパラダイス (横浜市海の公園) (観音寺番所⑧)
●	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 (横浜市臨海パーク) (観音寺番所⑨)

図 8-4 その他の調査の実施地点

(3) 干潟以外の調査の結果

干潟以外の調査について、報告された結果の概要は以下のとおり。

①大田区が行った多摩川や内川等における調査では、マハゼやオイカワ等が多く観測された。

- ②東京都が行った東京都内湾部、浅海部、干潟部における調査において、お台場海浜公園でハゼ科仔魚が多く確認されたほか、初めてカワハギが確認された。
成魚調査及び底生生物調査の海域は貧酸素状態であった。一方、成魚調査の全調査地点で生きているホンビノスガイが確認された。
またプランクトン調査において、赤潮調査では*Thalassiosira* spp.や*Thalassiosiraceae*が多く確認され、水質調査では*Skeletonema costatum*や*Cryptomonadaceae*、*Thalassiosira binata*が多く確認された。
- ③国交省関東地方整備局が行った横浜港本牧沖の調査では、シロボヤやイワフジツボ等が確認された。
- ④板橋区が石神井川で行った調査では、これまでの調査で確認された種類の変化と個体数の増減が確認された。ゲリラ豪雨等の急激な増水等により、魚類が下流に押し流されたり、上流から流されてきたりしたことが原因と考えられた。
- ⑤国交省関東地方整備局が羽田空港付近で行った底生生物調査では、ヒゲスピオ、シノブハネエラスピオ（環形動物門）等が確認された。
- ⑥横浜・八景島シーパラダイスが行った海の公園のアマモ場の調査では、ニクハゼやアミメハギが多く確認された。
- ⑦国交省関東地方政局が行った臨港パークにおける水生生物調査では、カンザシゴカイやイトマキヒトデなどが確認された。

(4) 各調査のレポート

各調査のレポートを紹介します。

生物調査（干潟以外）のレポート①

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都大田区	①田園調布（多摩川） ②呑川中流域 ③呑川上流域 ④内川（四之橋～諏訪橋）	①6月7日 8月2日 ②6月6日 8月3日 ③6月7日 8月3日 ④6月6日 8月3日	魚類、底生生物

生物調査の結果①

団体名	東京都 大田区	
調査地点名	田園調布（多摩川）	
位置座標 (可能であれば)	緯度	N35°35'23.4"
	経度	E139°39'45.7"
実施年月日	令和5年6月7日、8月2日	

	種名（和名）	発見された数		種名（和名）	発見された数
	魚類	フナ属		1	底生生物
オイカワ		29	モノアラガイ科	1	
マルタ		1	ドブシジミ科	1	
ウグイ属		5	ミズミズ科	2	
タモロコ		3	イシビル科	29	
カマツカ類		3	シマイシビル	10	
ニゴイ属		11	ミズムシ（甲）	2	
ヒガシシマドジョウ		3	カワリヌマエビ属	70	
アユ		4	テナガエビ	4	
ボラ		6	スジエビ	1	
コクチバス		1	アメリカザリガニ	2	
マハゼ		3	モクズガニ	9	

	ヌマチチブ	18		コカゲロウ科	32
	ゴクラクハゼ	1		サナエトンボ科	1
	ウキゴリ	18		コヤマトンボ	1
				トンボ科	1
				シオカラトンボ	1
				チビミズムシ	100
				チビミズムシ属	100
				シマトビケラ科	10
				コガタシマトビケラ属	3
				ニンギョウトビケラ科	1
				ユスリカ科	10

生物調査の結果②

団体名	東京都大田区		
調査地点名	呑川中流域		
位置座標 (可能であれば)	緯度	N35°34'32.1"	
	経度	E139°42'31.0"	
実施年月日	令和5年6月6日、8月3日		

魚類	種名 (和名)	発見された数	底生生物	種名 (和名)	発見された数
		コイ (型不明)		6	
	ウグイ属	51		サカマキガイ	1
	マルタ	10		ミズミミズ科	36
	ボラ	8		イシビル科	8
	マハゼ	3		アメンボ	3
	ビリンゴ	1		ユスリカ科	26
	ウキゴリ属	1			

生物調査の結果③

団体名	東京都大田区	
調査地点名	呑川上流域	
位置座標 (可能であれば)	緯度	N35°35'04.9"
	経度	E139°41'49.1"
実施年月日	令和5年6月7日、8月3日	

魚類	種名 (和名)	発見された数	底生生物	種名 (和名)	発見された数
		アユ		12	
	ボラ	2		モノアラガイ科	1
	ヌマチチブ	1		ヒメモノアラガイ	3
	スミウキゴリ	22		サカマキガイ	1
				ミズミミズ科	20
				イシビル科	2
				カワリヌマエビ属	3
				モクズガニ	2
				コカゲロウ科	8
				アメンボ	2
				ユスリカ科	13
				アシマダラブユ属	4

生物調査の結果④

団体名	東京都大田区	
調査地点名	内川（四之橋～諏訪橋）	
位置座標 (可能であれば)	緯度	N35°34'30.7"
	経度	E139°43'49.3"
実施年月日	令和5年6月6日、8月3日	

	種名（和名）	発見された数		種名（和名）	発見された数
	魚類	ウグイ属		1	底生生物
ボラ		14	マガキ	200	
スズキ		6	ウネナシトマヤガイ	1	
キチヌ		3	カワゴカイ属	5	
マハゼ		121	イトゴカイ科	1	
アベハゼ		1	カンザシゴカイ科	2	
ウロハゼ		1	ヨーロッパフジツボ	10	
チチブ		15	シロスジフジツボ	10	
ドロメ		4	ユンボソコエビ科	50	
				コツブムシ科	
			キタフナムシ	102	
			ミズミミズ科	1	
			フジツボ科	100	
			テナガエビ	1	
			シラタエビ	2	
			ヨコエビ目	3	
			スジエビ属	3	
			チチュウカイミドリガニ	3	
			クロベンケイガニ	45	
			イソガニ	1	
			タカノケフサイソガニ	3	
			アシハラガニ	1	
			ヤマトオサガニ	5	
			ユスリカ科	2	

生物調査（干潟以外）のレポート②

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	①7月25日	①プランクトン ②稚魚 ③成魚 ④鳥類 ⑤底生生物
		8月1日	
		8月2日	
		8月9日	
		②8月1日	
		③9月7日	
		④8月3日	
		⑤8月30日	
		9月6日	

プランクトン調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

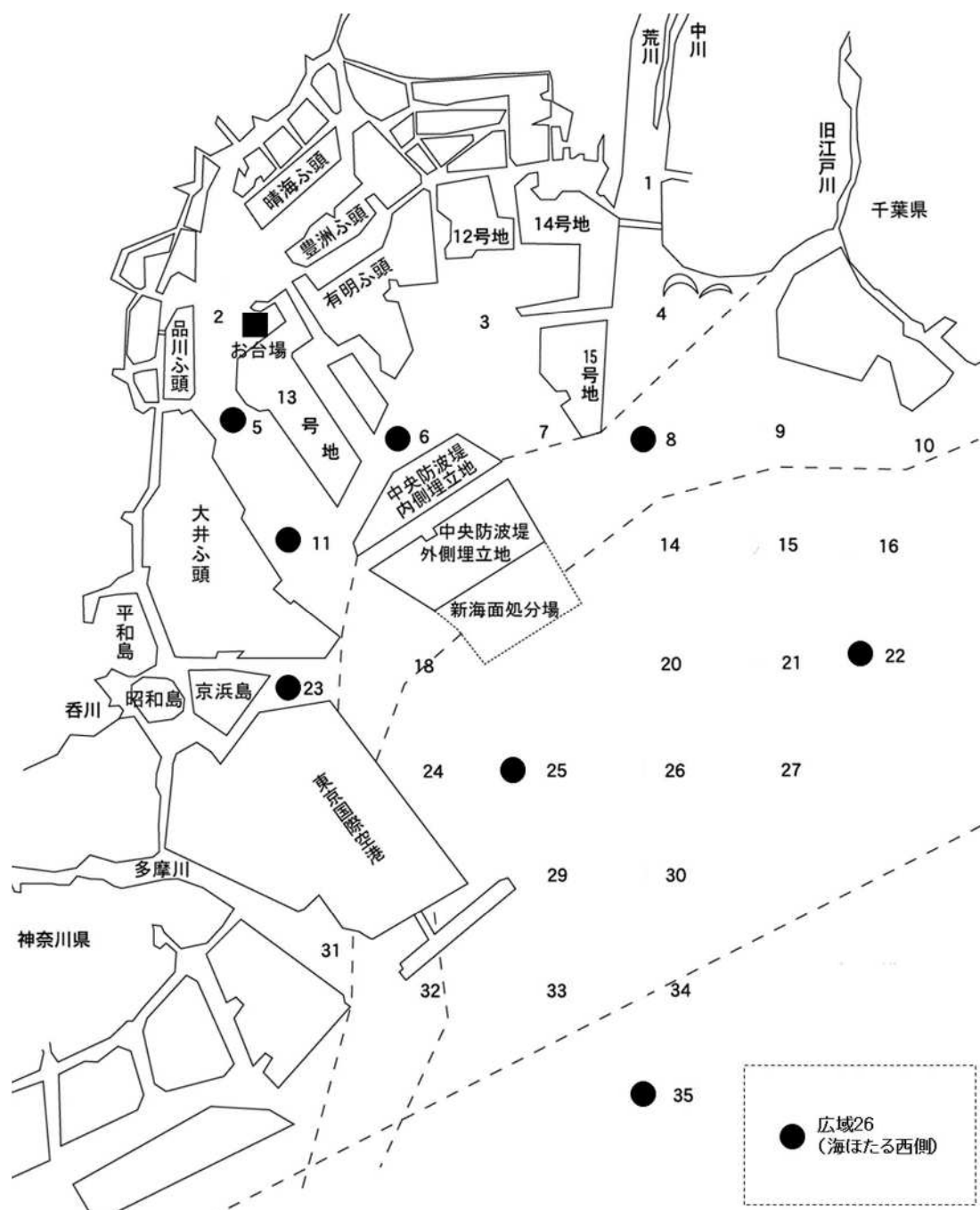
東京都環境局では、水質汚濁防止法第16条の測定計画に基づく毎月の水質測定調査時に動植物プランクトン上位10種の同定・計数を行っているほか、夏季期間中に延べ17日間の赤潮調査（上位5種）を実施し、概ね毎週、赤潮発現の推移を見ている。

令和5年7月25日の赤潮調査と8月上旬に実施した水質測定調査で確認されたプランクトン種を報告する。

【調査実施日・地点】

①赤潮調査：7月25日 計8地点（お台場, St.6, 8, 11, 22, 23, 25, 35）

②内湾水質測定調査：8月1, 2, 9日 計9地点 (St.5, 6, 8, 11, 22, 23, 25, 35, 広域26)



【①赤潮調査 (7月25日)】

調査前は2週間以上降雨がなく、最高気温が30℃を超える日が続いた。

沖合の St.22 と St.35 を除いた 6 地点で赤潮が確認され、お台場と St.8 を除き底層の溶存酸素量が 2.0mg/L 未満の貧酸素状態であった。

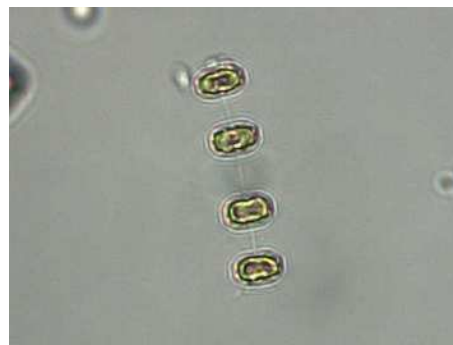
東京都では、1 回の赤潮調査につき数地点で表層水を採水し、動植物プランクトン優占5種の定量を実施している。7月25日はお台場、St.6、St.8 の3地点について定量を行った。

結果は表1のとおり、細胞数では *Thalassiosira* spp. や *Thalassiosiraceae* が最多となり、次いで *Cryptomonadaceae*、*Skeletonema costatum* が多く見られた。また、*Euglenophyceae* も比較的多く、優占5種に入った。

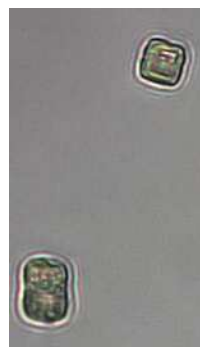
動物プランクトンでは繊毛虫類の *Oligotrichida* や *Mesodinium rubrum* などが見られた。

表1 7/25 赤潮調査におけるプランクトン定量結果

調査地点	お台場	St.6	St.8
採取年月日	7/25	7/25	7/25
植物プランクトン			
種名	細胞数(単位: $\times 10^6$ 細胞数/ m^3)		
<i>Cryptomonadaceae</i>	10,300	12,900	11,800
<i>Skeletonema costatum</i>	8,390		5,510
<i>Thalassiosira</i> spp.	19,600		
<i>Thalassiosiraceae</i>	16,200	17,900	21,200
<i>Chaetoceros</i> spp.		2,630	
<i>Cylindrotheca closterium</i>		2,120	2,380
<i>Euglenophyceae</i>	4,250	3,060	2,740
other phytoplankton	9,720	7,340	9,500
動物プランクトン			
種名	個体数(単位: $\times 10^6$ 個体数/ m^3)		
<i>Mesodinium rubrum</i>	11.4	1.84	8.63
<i>Tintinnopsis</i> sp.			0.21
<i>Helicostomella subulata</i>	1.68	1.84	
<i>Favella ehrenbergii</i>		1.45	
<i>Eutintinnus</i> sp.	9.68	2.63	0.84
<i>Oligotrichida</i>	49.3	6.58	19.6
Ciliata	70.7		
Nauplius of Copepoda			3.16
other zooplankton	3.68	2.76	0.26



Thalassiosira sp.



Thalassiosiraceae

Euglenophyceae



Cylindrotheca closterium

【②水質測定調査】

8月1日 (St.23, 25, 35, 広域 26) : 調査前は3週間以上降雨がなかったが、当日は12.5 mmの降雨があった。

8月2日 (St.5, 6, 8, 11) : 当日の天候は晴。

8月9日 (St.22) : 8月2日に強風で実施できなかった地点を調査。調査3日前に4 mm、当日に8 mmの降雨があった。

最高気温が30°Cを超える日が続いていた。

降雨の影響か、調査した9地点のうち2地点 (St.6、St.11) が赤潮気味であった。

St.8を除き、底層の溶存酸素量が2.0 mg/L未満の貧酸素状態であった。

各地点の動植物プランクトン上位10種と細胞数は表2のとおり。

Skeletonema costatum や Cryptomonadaceae、*Thalassiosira binata* が細胞数での優占種となり、そのほか Euglenophyceae や *Prorocentrum minimum* などが多く観察された。

また、動物プランクトンでは Oligotrichida やカイアシ類の幼生などが見られた。

観察された主な種の顕微鏡下写真

植物プランクトン



Skeletonema costatum (珪藻)

Prorocentrum minimum (渦鞭毛藻)

動物プランクトン



カイアシ類の幼生

表2 8月の水質測定調査におけるプランクトン定量結果

調査地点	St.5	St.6	St.8	St.11	St.22	St.23	St.25	St.35	広26
採集年月日	8月2日	8月2日	8月2日	8月2日	8月9日	8月1日	8月1日	8月1日	8月1日
植物プランクトン									
種名	細胞数 (単位: $\times 10^6$ 細胞/m ³)								
Cryptomonadaceae	1,360	3,910	169	3,180	1,610	624	2,830	708	1,450
<i>Prorocentrum minimum</i>	738	1,690		2,870		248	632		
<i>Prorocentrum triestinum</i>		290					286		
<i>Gymnodinium</i> sp.								190	
<i>Gyrodinium</i> sp.	127			286					
Gymnodiniales			22		210	168		214	274
<i>Heterocapsa</i> sp.	206		26	135				75	
<i>Protoperidinium bipes</i>					204				
Peridiniales		290			321			169	222
<i>Cyclotella</i> sp.			46						
<i>Skeletonema costatum</i>	5,630	6,520	1,430	6,000		3,060	2,710		
<i>Thalassiosira binata</i>	2,450	2,120	218	3,840	6,550	4,130	3,910		
Thalassiosiraceae	660	1,790	1,170	756		1,440	1,270		93
<i>Leptocylindrus danicus</i>									159
<i>Leptocylindrus minimus</i>		906				179	480		68
<i>Cerataulina pelagica</i>					131				
<i>Chaetoceros</i> subgen. <i>Hyalochaete</i> sp.					180				
<i>Neodelphineis pelagica</i>			26		1,100			115	115
<i>Cylindrotheca closterium</i>	300	612	37	269		400	846	81	312
Euglenophyceae	524	3,120	32	1,040	624	678	1,580	424	224
Prasinophyceae								67	
other Micro-flagellates	137	330		666	564	133	484	445	440
others	622	1,040	113	542	596	601	1,290	312	559
合計細胞数	12,754	22,618	3,289	19,584	12,090	11,661	16,318	2,800	3,916
動物プランクトン									
種名	個体数 (単位: $\times 10^6$ 個体/m ³)								
<i>Mesodinium rubrum</i>		0.35	0.20		0.03			0.80	
<i>Tintinnidium mucicola</i>				0.07					
<i>Tintinnopsis corniger</i>				0.02				0.04	0.07
<i>Tintinnopsis</i> sp.			0.02			0.15			
<i>Helicostomella fusiformis</i>	0.20	1.20			0.35	1.85	3.30	1.10	0.63
<i>Favella ehrenbergii</i>							0.27		
<i>Eutintinnus lusus-undae</i>				0.01					
<i>Eutintinnus</i> sp.							0.24		0.06
<i>Amphorellopsis acuta</i>						0.60			0.08
Oligotrichida	0.60	2.40	0.95	1.60	5.80	0.90	1.80	0.44	0.75
Hypotrichida		1.15		0.70				0.17	
Ciliata	0.95	0.60	0.80	0.60	1.90	0.95			0.14
<i>Brachionus plicatilis</i>					0.03				
<i>Trichocerca marina</i>		0.23					0.60	0.13	
<i>Synchaeta</i> sp.	0.05	0.15		0.05			0.06		
Veliger larva of Bivalvia	0.05				0.43		0.02	0.02	
Polychaeta larva	0.01					0.01		0.09	
<i>Evadne tergestina</i>					0.08				
Copepodite larva of <i>Acartia</i>			0.01						
<i>Oithona davisae</i>	0.02	0.06	0.02	0.04	0.12	0.04	0.17	0.14	0.03
Copepodite larva of <i>Oithona</i>	0.09	0.12	0.05	0.05	0.23	0.10	0.34		0.60
Nauplius larva of Copepoda	3.20	1.40	0.16	1.40	5.60	1.85	2.10	2.20	1.45
Nauplius larva of Cirripedia	0.01								
<i>Oikopleura dioica</i>			0.01			0.02			0.04
<i>Oikopleura</i> sp.			0.01						
合計個体数	5.18	7.66	2.23	4.54	14.57	6.47	8.90	5.13	3.85

水生生物調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

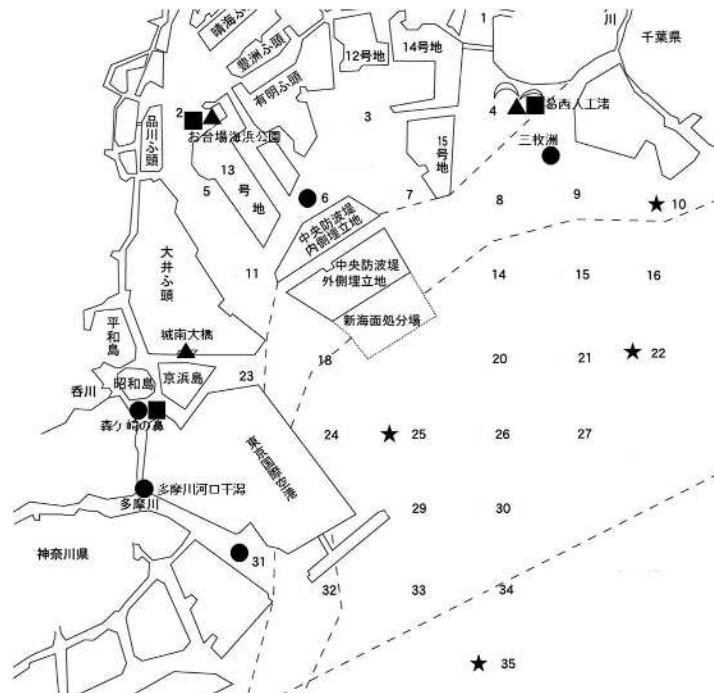
東京都環境局では、東京都内湾部、浅海部、干潟部において水生生物調査を実施している。
令和5年7月から9月には、稚魚、成魚、鳥類、底生生物の各種調査を実施した。
なお、稚魚調査は小型地引網、成魚調査は小型底引網を用いて調査している。

【調査実施日】

稚魚：8月1日、成魚：9月7日、鳥類：8月3日、底生生物：8月30日・9月6日

【調査地点】

調査地点		稚魚	成魚	鳥類	底生生物
内湾部	St.6				●
	St.22		★		
	St.25		★		
	St.35		★		
浅海部	St.10 (江戸川河口・高洲)		★		
	三枚洲 (荒川河口)				●
	St.31 (多摩川河口)				●
干潟部	葛西人工渚	▲		■	
	お台場海浜公園	▲		■	
	城南大橋	▲			
	森ヶ崎の鼻			■	●
	多摩川河口干潟				●
地点数		3	4	3	5



【調査結果概要】

1. 稚魚調査 (8月1日)

天気は曇りであったが、調査地点間を移動中、一時的に雷を伴う大雨があった。

主に採取された主な魚種は次のとおり。(速報のため、種名等は未確定)

お台場海浜公園ではハゼ科仔魚が非常に多く出現したほか、カワハギが本調査で初めて出現した。

		お台場	城南大橋	葛西人工渚
魚類	ハゼ科仔魚	G		
	マハゼ	c	c	c
	コノシロ	+	c	
	ビリンゴ	c		+
	エドハゼ			+
	トラフグ			+
	カライワシ			+
	ヒイラギ	r		
	マゴチ		r	
	ギマ		r	
	コショウダイ		r	
魚類以外	ニホンイサザアミ	m	G	
	シラタエビ			G
	エビジャコ属	+	r	r
	アキアミ	r		
	ユビナガスジエビ		r	
	ガザミ			r

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5~20 個体未満、r:5 個体未満

○調査で確認した主な種



2. 成魚調査 (9月7日)

当日の天候は曇り、潮差は小潮であった。採取された主な種は次のとおり。(速報のため、種名は未確定)

St.10 を除き下層は貧酸素状態であり、全地点で魚類は出現しなかった。

夏の成魚調査では珍しく、全地点でホンビノスガイの生きている個体が確認された。

		St.35	St.25	St.22	St.10
下層DO[mg/L]		1.0	1.5	0.5	4.3
魚類		出現せず			
魚類 以外	ホンビノスガイ	r	r	r	c
	イガイ科	r	r		
	サルボウガイ				r

c:20~100 個体未満、+:5~20 個体未満、r:5 個体未満

○調査で確認した主な種



3. 底生生物調査 (8月30日 (三枚洲以外)・9月6日 (三枚洲))

採取された種は次のとおり。(速報のため、種名は未確定)

St.6では水深約12mのところ、水深約7.0m以深が貧酸素状態にあり、水底付近はほぼ無酸素状態であった。

森ヶ崎の鼻では、昨年度確認できた甲殻類が今年度は確認できなかった。

	出現種
多摩川河口干潟	ヤマトオサガニ、ヤマトシジミ、ムロミスナウミナナフシ、チロリ属、紐形動物門
森ヶ崎の鼻	ムロミスナウミナナフシ、ミズヒキゴカイ、ゴカイ科
St.6	生体は確認されず
三枚洲 (荒川河口)	アサリ、ホンビノスガイ、シオフキ、マテガイ、シノブハネエラスピオ
St.31(多摩川河口)	アサリ、カガミガイ、アラムシロ、ホトトギスガイ、ミズヒキゴカイ

○調査で確認した主な種



4. 鳥類調査 (8月3日)

当日の天候は晴、潮差は大潮であった。出現種と数は次のとおり。

東京都レッドリスト 2020 年版 (区部) で絶滅危惧 IA 類に指定されているササゴイやコチドリが森ヶ崎の鼻で、シロチドリが葛西人工渚でそれぞれ確認された。また、絶滅危惧 IB 類に指定されているオオソリハシシギが葛西人工渚で、ミサゴが森ヶ崎の鼻でそれぞれ確認された。

	葛西人工渚 (東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場 海浜公園
確認された種数	12種	15種	9種
カルガモ	3	1	
カワウ	2640	671	759
ササゴイ		1	
アオサギ	14	21	11
ダイサギ	26	13	13
チュウサギ		2	
コサギ	7	5	6
コチドリ		1	
シロチドリ	2	2	
オオソリハシシギ	1		
キアシシギ	7	1	2
イソシギ	2	5	2
キョウジョシギ	3		
ユリカモメ		1	
ウミネコ	1736	200	5
オオセグロカモメ	56		
ミサゴ		2	
トビ			2
ハクセキレイ		2	1

○調査で確認した種



生物調査（干潟以外）のレポート③

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
関東地方整備局 京 浜港湾事務所	横浜港本牧沖	7月26日～28日	海藻類、魚類及び着 生生物等

生物調査の結果

団体名	関東地方整備局 京浜港湾事務所		
調査地点名	横浜港本牧沖（図1 調査平面図、図2 調査地点概要図 参照）		
位置座標 （可能であれば）	緯度		
	経度		
実施年月日	令和5年7月26日～28日		



図 1 調査地点平面図

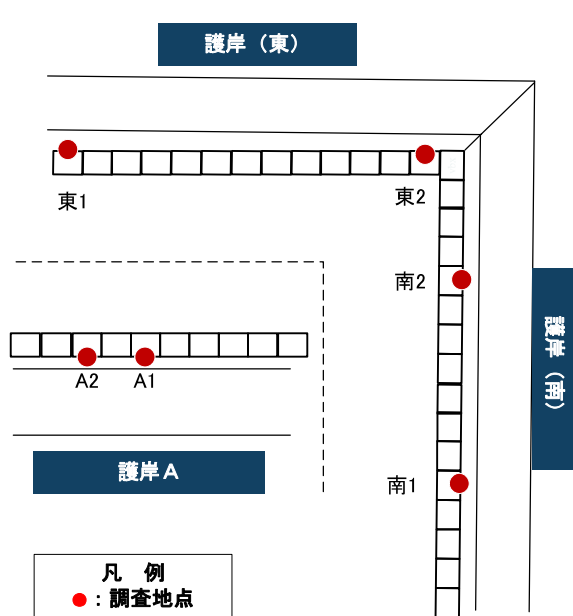


図 2 調査地点概要図

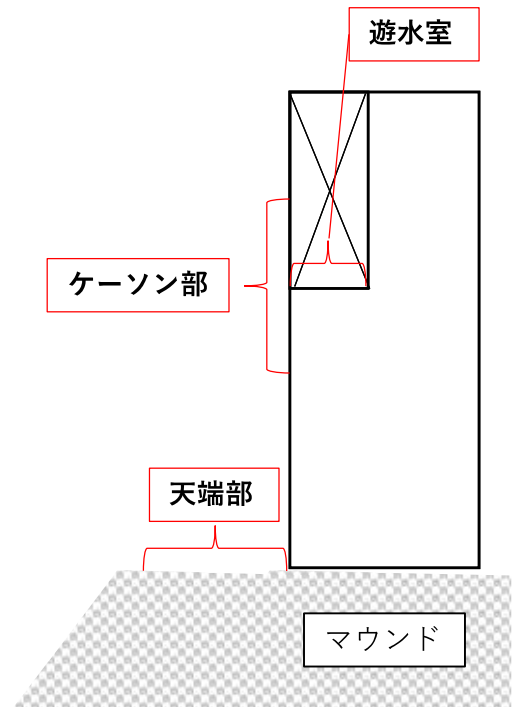


図 3 潜水目視調査範囲図 (ケーソン断面図)

【調査方法】

潜水士による目視により海藻類、魚類及び着生生物等の観察、撮影の実施。

【調査結果】

現地調査結果は以下のとおりである。

表 1 出現種一覧（調査地点：東 1）

調査日：令和 5 年 7 月 27 日

区分	種名	ケーソン部	遊水室	天端部
海藻類	アオノリ属	●		
	アオサ属	●		
動物	海綿動物門	●		
	ヒドロ虫綱	●		●
	イソギンチャク目	●	●	●
	苔虫綱	●		●
	アカエラミノウミウシ			●
	ムラサキイガイ	●	●	
	ミドリイガイ	●	●	
	マガキ	●		
	ウスカラシオツガイ	●	●	
	マダコ			●
	ケヤリムシ科	●		
	カンザシゴカイ科	●		●
	イワフジツボ	●		
	タテジマフジツボ	●		
	アメリカフジツボ	●		
	サンカクフジツボ	●		
	オオアカフジツボ	●		
	ナンオウフジツボ	●		
	イシガニ			●
	イッカククモガニ			●
	キヒトデ		●	●
	サンショウウニ			●
	カタユウレイボヤ	●		●
	イタボヤ科	●		
	エボヤ	●		●
	シロボヤ	●	●	●
	マンハッタンボヤ	●		●
	ホヤ綱(単体性)	●		●
	ホヤ綱(群体性)	●		●
	カサゴ	●		
	クロダイ	●		
	イソギンボ	●		
シマハゼ類	●			
合計	35 種	29 種	6 種	16 種

注) ●は出現種を示す。

表 2 出現種一覧（調査地点：東 2）

調査日：令和 5 年 7 月 27 日

区分	種名	ケーソン部	遊水室	天端部
海藻類	アオノリ属	●		
	アオサ属	●		
底生生物	海綿動物門			●
	ヒドロ虫綱	●		●
	タテジマイソギンチャク	●		
	イソギンチャク目	●	●	●
	ツノマダコケムシ科	●		●
	フサコケムシ	●		
	ホソフサコケムシ	●		
	苔虫綱	●		●
	シマメノウフネガイ	●		
	アカニシ	●		
	レイシガイ	●		
	イボニシ	●		
	フトコロガイ科	●		
	ウスカラシオツガイ		●	
	アカエラミノウミウシ	●		
	ヒバリガイ	●		
	ムラサキイガイ	●	●	●
	ミドリイガイ	●	●	
	マガキ	●	●	●
	マダコ			●
	ミズヒキゴカイ科	●	●	●
	ケヤリムシ科	●		●
	カンザシゴカイ科	●		●
	イワフジツボ	●		
	アメリカフジツボ	●		
	サンカクフジツボ	●		●
	オオアカフジツボ	●		
	ナンオウフジツボ	●		
	ヨツハモガニ	●		
	サンショウウニ	●		
	キヒトデ			●
	カタユウレイボヤ	●		
	イタボヤ科	●		
	エボヤ	●		
	シロボヤ	●	●	●
	マンハッタンボヤ	●		●
	ホヤ綱（単体性）			●
	ホヤ綱（群体性）			
	不明棲管	●		
	カサゴ	●		●
	イソギンボ	●		
イシガニ		●	●	
（硫黄酸化細菌のマット）		●		
合計	45 種	38 種	9 種	18 種

注) ●は出現種を示す。

表 3 出現種一覧（調査地点：南 1）

調査日：令和 5 年 7 月 26 日

区分	種名	ケーソン部	遊水室	天端部
海藻類	アオノリ属	●		
	アオサ属	●		
底生生物	ヒドロ虫綱	●	●	●
	イソギンチャク目	●	●	
	ホソフサコケムシ	●		
	苔虫綱	●		●
	ハナギンチャク目			●
	ムラサキイガイ	●	●	
	ミドリイガイ	●	●	
	マガキ	●		
	ウスカラシオツガイ	●	●	
	マダコ			●
	ウミフクロウ			●
	アカエラミノウミウシ			●
	ケヤリムシ科			●
	カンザシゴカイ科	●	●	●
	イワフジツボ	●		
	タテジマフジツボ	●		
	アメリカフジツボ	●		
	サンカクフジツボ	●		
	オオアカフジツボ	●		
	チンオウフジツボ	●		
	ヨツハモガニ	●		
	イッカククモガニ			●
	イシガニ	●	●	
	キヒトデ		●	●
	カタユレイボヤ	●		●
	ヌノメイトマキヒトデ			●
	イタボヤ科	●		●
	エボヤ	●	●	●
	シロボヤ	●	●	●
	ウスボヤ科			●
	マンハッタンボヤ			●
	ホヤ綱(単体性)	●		●
	ホヤ綱(群体性)	●	●	●
	オニオコゼ	●		
	クロダイ	●		
	イソギンボ	●		
チベカ	●			
カサゴ			●	
合計	40 種	29 種	11 種	20 種

注) ●は出現種を示す。

表 4 出現種一覧（調査地点：南 2）

調査日：令和 5 年 7 月 26 日

区分	種名	ケーソン部	遊水室	天端部
海藻類	アオノリ属	●		
	アオサ属	●		
底生生物	海綿動物門	●		●
	ヒドロ虫綱	●	●	●
	タデジマイソギンチャク	●		
	ハナギンチャク目			●
	イソギンチャク目	●	●	●
	チゴケムシ			●
	ツノマダコケムシ科	●		●
	ホソフサコケムシ	●	●	
	苔虫綱	●		●
	レイシガイ	●		
	イボニシ	●		
	ムラサキイガイ	●	●	
	ミドリイガイ	●	●	
	マガキ	●		
	ウスカラシオツガイ	●	●	
	マダコ			●
	ミズヒキゴカイ科	●		
	ケヤリムシ科	●		●
	カンザシゴカイ科	●	●	●
	イワフジツボ	●		
	タデジマフジツボ	●		
	アメリカフジツボ	●		
	サンカクフジツボ	●		
	オオアカフジツボ	●		
	ナンオウフジツボ	●		
	イシガニ	●	●	●
	サンショウウニ	●	●	
	ヌノメイトマキヒトデ			●
	イトマキヒトデ			●
	マナマコ			●
	カタユウレイボヤ	●		●
	イタボヤ科	●		
	エボヤ	●		●
シロボヤ	●		●	
マンハッタンボヤ			●	
ホヤ綱(単体性)	●		●	
ホヤ綱(群体性)	●			
カサゴ	●		●	
イソギンボ	●			
チベカ	●			
キヒトデ		●	●	
(硫黄酸化細菌のマット)			●	
合計	44 種	35 種	11 種	21 種

注) ●は出現種を示す。